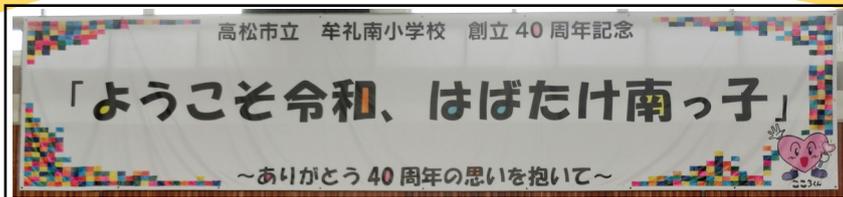


南小だより 9月



いよいよ2学期が始まりました。自分で計画して1日を過ごした夏休みを経て、一段とたくましくなったことと思います。それぞれの夢や目標に向かってさらに伸びてほしいと思います。

創立40周年を記念した垂れ幕が完成しました。周りのデザインは子どもたちの手によるものです。5cm×8cmの40cmの枱形に6色マジックで1人1人が色を選んで塗りました。それぞれの選んだ色が組み合わさって、南っ子にふさわしい明るく元気な表現になりました。体育館に掲示していますので、ぜひご覧ください。

右の文章は8月6日の平和記念式典での、こども代表による「平和への誓い」です。ふるさとへの愛情や大切なものを守ろうとする決意が心を打ちます。ふれあい集会やふるさとまつりを通して、南っ子も、ふるさとや周りの人の大切さに気づき、未来へはばたいてほしいと思います。

私たちは、広島町が大好きです。ゆったりと流れる川、美しい自然、「おかえり。」と声をかけてくれる地域の人、どんなときでも前を向いて生きる人々。広島には、私たちの大切なものがあふれています。

昭和20年(1945年)8月6日。あの日から、血で染まった川、がれきの山、皮膚がはがれた人、たくさんの亡骸、見たくなくても目に飛び込んでくる、地獄のような光景が広がったのです。大好きな町の「悲惨な過去」です。被爆者は語ります。「戦争は忘れることのできない特別なもの」だと。

私たちは、大切なものを奪われた被爆者の魂の叫びを受け止め、次の世代や世界中の人たちに伝え続けたい。「悲惨な過去」を「悲惨な過去」のままに終わらせないために。二度と戦争をおこさない未来にするために。

国や文化や歴史、違いはたくさんあるけれど、大切なもの、大切な人を思う気持ちは同じです。みんなの「大切」を守りたい。

「ありがとう。」や「ごめんね。」の言葉で認め合い許し合うこと、寄り添い、助け合うこと、相手を知り、違いを理解しようと努力すること。自分の周りを平和にすることは、私たち子どもにもできることです。

大好きな広島に学ぶ私たちは、互いに思いを伝え合い、相手の立場に立って考えます。意志をもって学び続けます。

被爆者の思いに、私たちの思いを重ねて、平和への思いを世界につなげます。

令和元年(2019年)8月6日 こども代表

広島市立落合小学校 6年 金田 秋佳

広島市立矢野小学校 6年 石橋 忠大

【広島市HPより】

8, 9月の生活目標

けじめのある行動をしよう

令和最初の「夏の甲子園」でも、たくさんの感動や刺激をもらいました。高校野球だけでなく、様々なスポーツで、始まりと終わりに礼をする場面を見かけます。その礼には、①相手に敬意を示す②支えてくれている人たちへの感謝の気持ちを表す③「さあ始まるぞ。」「よくやった。」などと気持ちを高める、などの意味があると感じます。「さあ、がんばるぞ。」と自分を鼓舞し、けじめのある行動をするために「礼」を大切にしたいと思います。(生徒指導主事)

